

令和元年5月に登録された「宮崎花旅365」。令和3年度は、前年度に続きコロナ禍の影響で活動が大幅に制限されたが、互いのガーデンの連携強化や、ホームページリニューアルや動画撮影などによる情報発信の強化などを実施しました。

主な活動内容

情報発信の強化

- ホームページのリニューアル
⇒ 今後様々なイベントや花の見どころなどの情報発信を積極的に行うため、宮崎花旅365ホームページのリニューアルを行いました。
- プロモーション動画の撮影
⇒ 宮崎花旅365 構成庭園の魅力を紹介する新しい形で発信するため、動画を撮影・編集し、ホームページで公開を行いました。今後も、季節ごとに動画を撮影し、様々な媒体での活用を考えています。



構成庭園の魅力アップ

- 構成庭園で共通植栽を実施
⇒ 公園部会による企画により、各構成庭園にて宮崎県産のラックスを用いた共通の植栽を前年のフォトフレーム設置場所周辺に行い、連携した統一感とイメージの向上を図りました。



- 構成庭園の植栽の強化
⇒ ミヤザキ春の花まつりでメイン会場として造成した英国式庭園隣接の木漏れ陽のガーデンにおいて、市民ボランティア参加による球根等の植栽を行いました。



旅行商品の造成

- 県内客向けの日帰りツアーを実施
⇒ 「宮崎花旅365」のブランド化が促進されました。
- ⇒ 地域資源の積極的活用による関連産業の活性化が促進されました。
- ⇒ ガーデンツーリズムに対する課題の把握・分析を行い、次の展開へとつなげます。



【ツアーアンケートの声】
 ・春らんまんをすごく感じれるツアーでした。
 ・あらためて宮崎の良さ、緑の豊かさを知れる楽しく美しいツアーでした。
 ・ツバキやブーゲンビリアもたくさん種類があると知り勉強になりました。
 ・普段運転していると味わえない日南海岸も楽しめました。すべてにおいて満足できるツアーでした。

連携促進

- 各構成庭園ガーデナーによるプロジェクト実施
⇒ 宮崎市内や隣接する綾町でボランティアが中心となって形成されるナチュラルスティックガーデン4箇所連携して、各ガーデンで開催されるイベントにおいて互いのガーデンの紹介を行いました。



その他

- みやざき花のパスポートの作成
- 行政・ガーデンツーリズム関係団体主催による各種講演会、セミナー等の開催
- オータムフラワーマンス等における各構成庭園の一括的な広報
- ガーデン雑誌(マイガーデン等)、各種メディアでの「宮崎花旅365」構成庭園の紹介
- 「花いっぱいみやざき」写真コンテストの実施

まとめ・今後の取組予定

コロナ禍の中、花に触れるイベントを実施することで、「心が華やかになる」という意見を多くいただいた。今後は、コロナの状況や国県の観光施策等の動向等を踏まえながら、プロモーションやイベントの展開を検討・実施するとともに、組織の活動を恒久的に継続していくくみ作りに取り組んでいきたい。